鳥取県企業動向調査

平成24年 8月調査

景況感は、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大 先行きは、製造業は悪化幅拡大、非製造業は同水準

目		次				
						ページ
調	查	要領	į			1
1.	概			況		2
2.	業	況	判	断	製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大	3
3.	売			上	製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大	3
4.	受			注	製造業は減少幅縮小、建設業は好転	4
5.	経	常	利	益	製造業は減少幅縮小、非製造業は減少幅拡大	4
6.	在			庫	製品在庫は過剰感増加、商品在庫、原材料在庫はとも に過剰感減少	4
7.	販売	価格・	仕入個	格	販売価格は低下幅縮小、仕入価格は上昇幅縮小	5
8.	資金網	繰り・借	入金列	桟高	資金繰りで製造業、非製造業ともに悪化	5
9.	雇			用	製造業は過剰感縮小、非製造業は不足感減少	6
10.	設	備	投	資	製造業、非製造業ともに前年比減補修、更新が主	6
11.	経営	上の	問題	点	製造業では「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」が 上位、非製造業では「売上・受注の減少」、「過当競争」 が上位	7
12.	前回	実施	調査結	果	平成25年度の新規学卒者採用計画に関するアンケート	11



○調 査 要 領

調査目的 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため

調 查 对 象 県内企業225社、回答企業103社、回答率45.7%

調 査 方 法 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答

調査対象期間 平成24年4~6月実績及び平成24年7~9月予想

調 査 時 点 平成24年8月下旬~9月中旬

○業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
	食 料 品	7	6.8	6	85.7
製	繊 維 ・ 縫 製	1	1.0	1	100.0
装	木材・木製品	2	1.9	2	100.0
造	紙・紙加工品	4	3.9	4	100.0
坦	窯業・土石	6	5.8	6	100.0
業	金属 · 機 械	11	10.7	11	100.0
未	電 気 機 械	15	14.6	15	100.0
	印刷・その他	10	9.7	8	80.0
	計	56	54.4	53	94.6
	建 設 業	8	7.8	7	87.5
非	卸 売 業	18	17.5	13	72.2
製造	小 売 業	9	8.7	2	22.2
業	運 輸 業	7	6.8	5	71.4
1	旅館・ホテル	5	4.9	4	80.0
	計	47	45.6	31	66.0
3	全部門合計	103	100.0	84	81.6

注:中小企業の範囲

製造業・建設業・運輸業…資本金3億円以下または従業員300人以下の企業

卸 売 業……資本金1億円以下または従業員100人以下の企業

小 売 業……資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業

サービス 業……資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

- B S I とは ----

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。 BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概 況……県内景況感は、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大 先行きの景況感は、製造業は悪化幅拡大、非製造業は同水準

鳥取県企業動向調査によると、平成24年4~6月の「自社業況の総合判断」は、前期(平成24年1~3月)に比べて製造業では、窯業・土石、繊維・縫製で好転したことを始め、多くの業種で悪化幅が縮小したことから、5.0ポイント上昇。非製造業では、卸売業、旅館・ホテルなどで悪化幅が拡大したことから、16.0ポイント低下。全産業では▲10.0と前期(▲5.5)より4.5ポイント悪化幅が拡大。また、前回調査時(5月)の予想(▲7.5)より42.5ポイント悪化幅が拡大した。

先行き平成24年7~9月の景況感は、製造業では、印刷・その他などで悪化幅が拡大することなどから5.5ポイント低下。非製造業では、小売業で悪化に転じるが、旅館・ホテルで悪化幅縮小し増減なし。全産業では▲13.0と3.0ポイント低下し、悪化幅が拡大する見込み。

1. 業種別の景況(詳細はP.3上段をご覧下さい)

製造業の景況感は、前期比5.0ポイント上昇したが、2四半期連続で悪化となった。 (▲8.5→▲3.5)

非製造業の景況感は、前期比16.0ポイント低下し、悪化幅が拡大し、61四半期連続の悪化となった。

 $(\triangle 2.0 \rightarrow \triangle 18.0)$

2.売上高の景況(詳細はP.3下段をご覧下さい)

売上高のBSIは、製造業では、前期比4.0ポイント上昇。 非製造業では、前期比17.0ポイント低下。全産業では、前期 比5.5ポイント低下した。 (▲3.5→▲9.0)

3.受注高の景況(詳細はP.4上段をご覧下さい)

受注高のBSIは、製造業では、前期比0.5ポイント上昇。 建設業では、前期比12.0ポイント上昇。全産業では、前期比 1.0ポイント上昇した。 (▲4.0→▲3.0)

4.経常利益の景況(詳細はP.5上段をご覧下さい)

経常利益のBSIは、製造業では、前期比11.0ポイント上昇。非製造業では、前期比13.0ポイント低下。全産業では、前期比増減なかった。 (▲10.0→▲10.0)

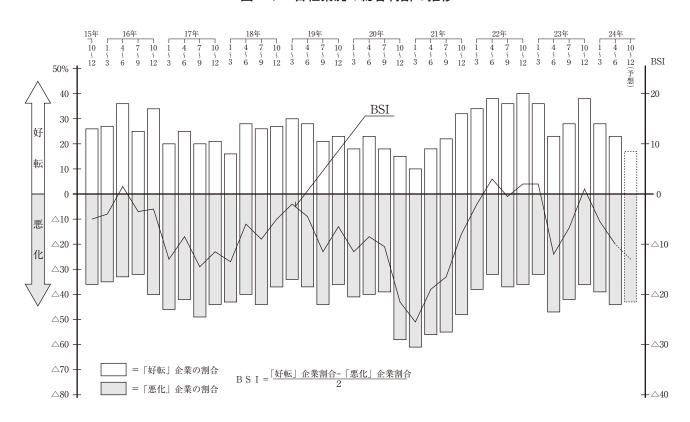
5.販売価格、仕入価格の景況(詳細はP.5上段をご覧下さい) 販売価格のBSIは、製造業では、前期比2.0ポイント上 昇。非製造業では、前期比0.5ポイント低下。全産業では、前 期比0.5ポイント上昇した。 (▲11.0→▲10.5)

仕入価格のBSIは、製造業では、前期比10.0ポイント低下。非製造業では、前期比12.0ポイント低下。全産業では、前期比10.5ポイント低下した。 (+14.5→+4.0)

6.経営上の問題点(詳細はP.7下段をご覧下さい)

経営上の問題点(大きいものから2項目選択)についての上位項目(全産業)は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の59%と最も多く、次いで「先行き見通し難」が29%、「過当競争」が25%、「販売価格の低下」が22%、「諸経費の増加」14%となった。

図-1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断……製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

「自社業況の総合判断」BSI※「(好転の割合-悪化の割合)÷2|

24 年 4~6 月は、前回調査比▲4.5(▲5.5→▲10.0) 前回(5月)調査の先行き予想比▲2.5(▲7.5→▲10.0) 24 年 7~9月の見込みは、▲3.0(▲10.0→▲13.0) 24 年 10~12月の見込みは+5.0(▲13.0→▲8.0) 自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化して いるかについて、経営者の判断を示すもの

製造業のBSI

24 年 4~6 月は、前回調査比+5.0(▲8.5→▲3.5) 上昇した業種:食料品、木材・木製品など 低下した業種:金属・機械、紙・紙加工品など 24 年 7~9 月の見込みは、▲5.5(▲3.5→▲9.0)

上昇見込み:紙・紙加工品

低下見込み:食料品、印刷・その他など

24年10~12月の見込みは、▲1.0(▲9.0→▲10.0) 上昇見込み:紙・紙加工品、電気機械など 低下見込み:食料品、金属・機械など

非製造業のBSI

24年4~6月は、前回調査比▲16.0(▲2.0→▲18.0)

上昇した業種:なし

低下した業種:旅館・ホテル、卸・小売業など 24年7~9月の見込みは、±0.0(▲18.0→▲18.0)

上昇見込み:建設業、卸売業など

低下見込み:小売業

24 年 10~12 月の見込みは、+12.5(▲18.0→▲5.5) 上昇見込み:旅館・ホテル、卸・小売業など

低下見込み:なし

図-2 業況総合判断 (製造業)

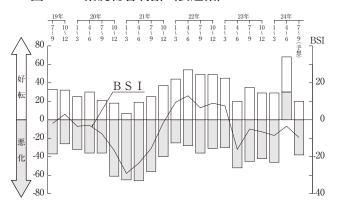
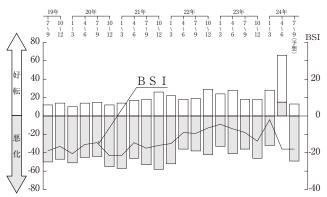


図-3 業況総合判断(非製造業)



3 売 上……製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

製造業の売上高BSI

24 年 4~6 月は、前回調査比+4.0(▲4.0→±0.0) 上昇した業種:食料品、金属・機械など 低下した業種:電気機械、縫製・繊維など 24 年 7~9 の見込みは、▲1.0(±0.0→▲1.0) 上昇見込み:食料品、電気機械など

低下見込み:金属・機械、木材・木製品など

非製造業の売上高BSI

24年4~6月は、前回調査比▲17.0(▲3.5→▲20.5)

上昇した業種:運輸業

低下した業種:建設業、旅館・ホテルなど 24年7~9の見込みは、±0.0(▲20.5→▲20.5)

上昇見込み:卸売業

低下見込み:小売業、運輸業など

売上高にかかる回答の集計(回答企業の加重平均) 全産業(回答 51 社)

24 年 4~6 月実績:前年同期比▲4.6% 24 年 7~9 月予想:同▲3.1%

製造業(29社)

24 年 4~6 月は、前年同期比▲7.7%

上昇した業種:食料品、金属・機械など 低下した業種:電気機械、出版・その他など

24年7~9月は、前年同期比▲4.6%

上昇見込みの業種:食料品、金属・機械など 低下見込みの業種:電気機械、出版・その他など

非製造業(22社)

24年4~6月は、前年同期比▲0.6%

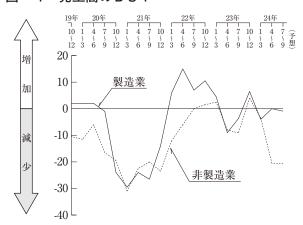
上昇した業種:建設業

低下した業種: 卸・小売業、運輸業など 24年7~9月は、前年同期比▲1.1%

上昇した業種:なし

低下した業種:建設業、旅館・ホテルなど

図-4 売上高のBSI



4 受 注……製造業は減少幅縮小、建設業は好転

製造業の受注高BSI

24年4~6月は、前回調査比+0.5(▲5.0→▲4.5)

上昇した業種:食料品、電気機械など

低下した業種:印刷・その他

24年7~9月の見込みは、+1.0(▲4.5→▲3.5)

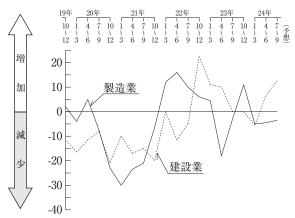
上昇見込み:電気機械、窯業・土石など

低下見込み:金属・機械、木材・木製品・家具など

建設業の受注高BSI

24年4~6月は、前回調査比+12.0(▲5.5→+6.5) 24年7~9月の見込みは、+6.0(+6.5→+12.5)

図-5 受注額のBSI



5 経常利益……製造業は減少幅縮小、非製造業は減少幅拡大

製造業の経常利益BSI

24年4~6月は、前回調査比+11.0(▲13.5→▲2.5)

上昇した業種:食料品、窯業・土石など 低下した業種:木材・木製品・家具など 24年7~9月の見込みは、▲5.5(▲2.5→▲8.0)

上昇見込み:紙・加工品

低下見込み:食料品、窯業・土石など

非製造業の経常利益BSI

24年4~6月は、前回調査比▲13.0(▲6.0→▲19.0)

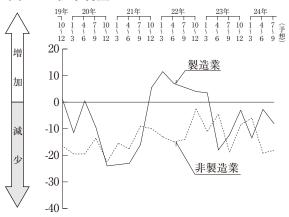
上昇した業種:建設業

低下した業種: 旅館・ホテル、運輸業など 24年7~9月の見込みは、▲1.0(▲19.0→▲18.0)

上昇見込み:卸・小売業、旅館・ホテル

低下見込み:運輸業

図-6 経常利益のBSI



6 在 庫……製品在庫は過剰感増加、商品在庫、原材料在庫はともに過剰感減少

製品在庫BSI「(不足一過剰)÷2」

24年4~6月は前回調査比▲1.5(▲3.0→▲4.5)過剰感増加

過剰感が増加した業種:紙・紙加工品 過剰感が減少した業種:電気機械など

不足感が増加した業種:なし 不足感が減少した業種:食料品

24年7~9月の見込みは、▲3.5(▲4.5→▲1.0)過剰感減少過剰感減少見込み:金属・機械、電気機械

不足感増加見込み:紙・紙加工品

商品在庫BSI

24年4~6月は前回調査比▲4.0(▲8.0→▲4.0)過剰感減少

過剰感が増加した業種:小売業 過剰感が減少した業種:卸売業

24年7~9月の見込みは±0.0(▲4.0→▲4.0)同水準

過剰感増加見込み: 卸売業

製造業の原材料在庫BSI

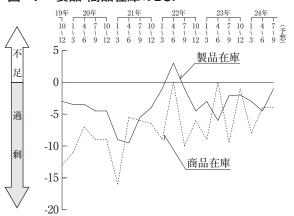
24年4~6月は前回調査比+1.5(▲5.0→▲3.5)過剰感減少

過剰感が増加した業種:金属・機械 過剰感が減少した業種:電気機械など 不足感が増加した業種:紙・紙加工品

24年7~9月の見込みは+1.5(▲3.5→▲2.0)過剰感減少

過剰感減少見込み:電気機械 不足感減少見込み:紙・加工品

図-7 製品·商品在庫のBSI



7 販売価格・仕入価格……販売価格は低下幅縮小、仕入価格は上昇幅縮小

販売価格BSI「(上昇-低下)÷2」

24年4~6月は、前回調査比+0.5(▲11.0→▲10.5) 24年7~9月の見込みは、+1.5(▲10.5→▲9.0)

製造業の販売価格BSI

24年4~6月は、前回調査比+2.0(▲15.5→▲13.5) 上昇した業種:食料品、紙・紙加工品など 低下した業種:金属・機械、電気機械など 24年7~9月の見込みは、+1.0(▲13.5→▲12.5) 上昇見込み:金属・機械、電気機械など

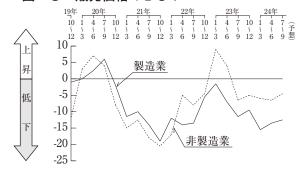
低下見込み:紙・紙加工品、印刷・その他など

非製造業の販売価格BSI

24年4~6月は、前回調査比▲0.5(▲6.0→▲6.5)

上昇した業種:建設業、小売業 低下した業種:卸売業、旅館・ホテル 24年7~9月の見込みは、+2.0(▲6.5→▲4.5) 上昇見込み:建設業、卸・小売業 低下見込み:旅館・ホテル

図-8 販売価格のBSI



原材料仕入価格BSI「(上昇一低下)÷2」

24年4~6月は、前回調査比▲10.5(+14.5→+4.0) 24年7~9月の見込みは、+1.5(+4.0→+5.5)

製造業の原材料仕入価格BSI

24年4~6月は、前回調査比▲10.0(+15.5→+5.5)

上昇した業種:なし

低下した業種:食料品、電気機械など 24年7~9月の見込みは、▲2.0(+5.5→+3.5)

上昇見込み: 窯業・土石

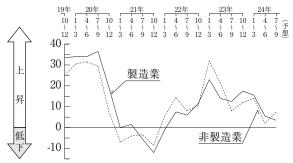
低下見込み:紙・紙加工品、印刷・その他など

非製造業の原材料仕入価格BSI

24年1~3月は、前回調査比▲12.0(+14.0→+2.0)

上昇した業種:旅館・ホテル 低下した業種:建設業、運輸業など 24年4v6月の見込みは、+5.5(+2.0→+7.5) 上昇見込み:建設業、卸・小売業など 低下見込み:なし

図-9 仕入価格のBSI



8 資金繰り・借入金残高……資金繰りで製造業、非製造業ともに悪化

資金繰りBSI「(楽一苦しい)÷2」

24年4~6月は、前回調査比▲2.5(±0.0→▲2.5) 24年7~9月の見込みは、▲3.5(▲2.5→▲6.0)

製造業の資金繰りBSI

24年4~6月は、前回調査比▲3.0(+1.0→▲2.0) 楽になる業種:金属製品、印刷・その他など 苦しくなる業種:繊維・縫製、紙・紙加工品など 24年7~9月の見込みは、▲4.5(▲2.0→▲6.5)

楽になる見込み:なし

苦しくなる見込み:食料品、木材・木製品など

非製造業の資金繰りBSI

24年4~6月は、前回調査比▲4.0(+1.0→▲3.0) 楽になる業種:建設業

苦しくなる業種:卸売業、旅館・ホテルなど

24年7~9月の見込みは、▲2.5(▲3.0→▲5.5)

楽になる見込み:なし

苦しくなる見込み:建設業、運輸業

借入残高のBSI「(減少-増加)÷2」

24年4~6月は、前回調査比+2.0(+15.5→+17.5) 24年7~9月の見込みは、▲7.0(+17.5→+10.5)

製造業の借入金残高BSI

24年4~6月は、前回調査比▲4.0(+23.0→+19.0) 減少する業種:印刷・その他、窯業・土石など 増加する業種:食料品、電気機械など

24年7~9月の見込みは、▲8.0(+19.0→+11.0) 減少する見込み: なし

増加する見込み:紙・紙加工品、窯業・土石など

非製造業の借入金残高BSI

24年4~6月は、前回調査比+7.0(+8.0→+15.0) 減少する業種:建設業、卸・小売業

増加する業種:運輸業

24年7~9月の見込みは、▲5.0(+15.0→+10.0)

減少する見込み:旅館・ホテル

増加する見込み:建設業、卸・小売業など

図-10 資金繰のBSI

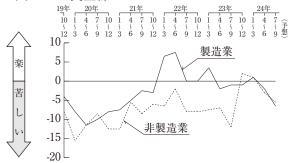
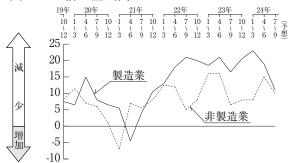


図-11 借入金残高のBSI



9 雇 用……製造業は過剰感縮小、非製造業は不足感減少

製造業の常用雇用者BSI「(過剰-不足)÷2」

24年4~6月は前回調査比▲1.0(+7.5→+6.5)過剰感縮小 過剰感が増加した業種: 食料品、紙・紙加工品など

過剰感が減少した業種:電気機械など

不足感が増加した業種:なし 不足感が減少した業種:なし

24年7~9月の見込みは±0.0(+6.5→+6.5) 同水準

過剰感増加の見込み: 窯業・土石

過剰感減少の見込み:食料品、金属・機械

不足感増加の見込み:繊維・縫製

不足感減少の見込み:なし

非製造業の常用雇用者BSI

24年4~6月は前回調査比+3.0(▲3.0→±0.0)不足感減少

過剰感が増加した業種: 卸売業 過剰感が減少した業種: なし

不足感が増加した業種:旅館・ホテル、小売業

不足感が減少した業種:運輸業

24年7~9月の見込みは▲4.5(±0.0→▲4.5)不足感増加

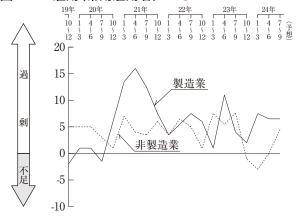
過剰感増加の見込み:なし

過剰感減少の見込み:なし

不足感増加の見込み:建設業、旅館・ホテルなど

不足感減少の見込み:なし

図-12 雇用(常用雇用者)のBSI



10 設備投資……製造業、非製造業ともに前年比減、補修・更新が主

24年4~6月:回答企業の35%が設備投資を実施し前年 同期実績(41%)よりも6ポイント下回った。

24年7~9月: 回答企業の41%が設備投資を計画し前年同期実績(43%)よりも2ポイント下回る見込み。

業種別設備投資企業割合

)内は前年同期実績:単位%

	24年1	~3月	24年4	~6月	24年7	~9月
	実	績	実	績	計	画
全 産 業	32	(32)	35	(41)	41	(43)
食 料 品	60	(40)	67	(67)	67	(56)
繊 維・縫 製	0	(0)	0	(0)	0	(0)
木材·木製品	0	(33)	0	(33)	0	(67)
紙·紙加工品	20	(0)	25	(67)	50	(50)
窯 業・土 石	17	(0)	17	(0)	17	(0)
金 属・機 械	67	(47)	64	(38)	73	(31)
電気機械	40	(64)	53	(67)	40	(78)
印刷・その他	0	(0)	11	(40)	11	(20)
製 造 業	38	(36)	41	(46)	41	(43)
建 設 業	22	(0)	0	(25)	0	(20)
卸 売 業	0	(21)	17	(30)	44	(27)
小 売 業	0	(75)	78	(30)	78	(70)
運輸業	0	(20)	29	(40)	43	(40)
旅館・ホテル	0	(25)	20	(50)	20	(50)
非製造業	12	(28)	28	(33)	40	(43)

		宇		5ポイント減少(46%→ 419)/)
	24	実施		3小1/1/減少(40% → 41) 業・十石、金属・機械など	<i>(</i> 0 <i>)</i>
	年	割合		対・木製品・家具、電気機	滅など
製	4	投	1 補修・更新	68%(前年同期	74%)
	6 月	資	2 合理化·省力化	45%(同	17%)
Nt.	Л	目的	3 研究開発	18% (同	4%)
造		計	前年同期実績比	2ポイント減少(43%→ 419	%)
	24	画割	上昇する業種:食	料品、金属・機械など	
業	年	割合	低下する業種:電	気機械、印刷・その他など	
术	7	投	1 補修・更新	64%(前年同期	29%)
	9	資目	2 合理化·省力化	41% (同	18%)
	月	的	3 增産·能力向上	18%(同	7%)
		実施	前年同期実績比	5ポイント減少(33%→ 289	%)
	24 年	旭割	上昇する業種:小	2 - · · ·	
	4	割合	低下する業種:街	売業、旅館・ホテルなど	
非	6	投炎	1 補修·更新	85%(前年同期	42%)
製	月	資目	2 販売力増強	31%(同	15%)
殺		的	2 合理化·省力化	8%(同	0%)
造		計		3ポイント減少(43%→ 409	%)
"	24 年	画割		l·小売業、運輸業	
業	7	割合	低下する業種:旅	館・ホテル	
	\ 0	投次	1 補修·更新	95%(前年同期	27%)
	9 月	資目	2 販売力増強	16%(同	4%)
1	/ •	的	2 合理化·省力化	16%(同	9%)

注:投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図-13 設備投資実施企業の割合の推移

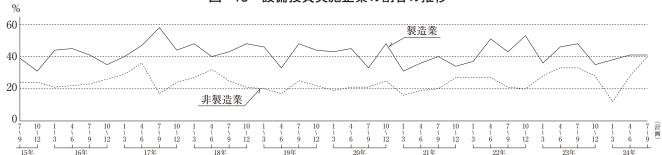
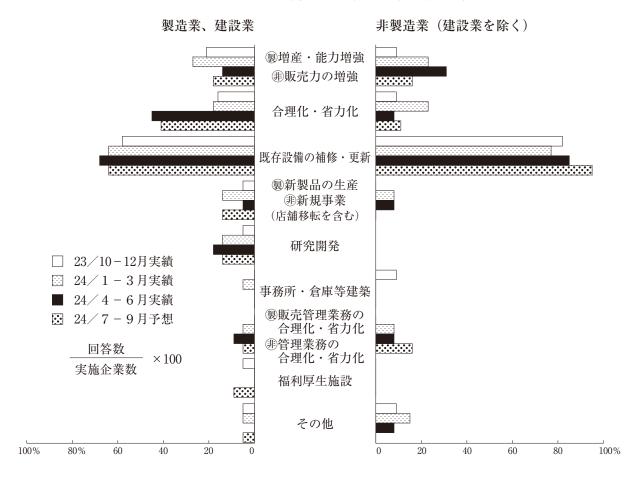


図-14 産業別設備投資の目的(複数回答、構成比)



経営上の問題点・・・・・・ 製造業では「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」が上位 11 非製造業では「売上・受注の減少 」、「過当競争」が上位

平成24年4~6月:経営上の問題点(大きいものから2項目 選択)の上位5項目(全産業)は1~3月と同様。

「売上・受注の減少」が4ポイント低下(製造業で10ポイント 低下し、非製造業で20ポイント上昇)。

	(単位:%)	
年		

					(早世・70)				
				24年					
		問題点	1~3月	4~6月	7~9月 予 想				
	1	売上・受注の減少	55	59	59				
全	2	先行き見通し難	23	29	37				
産	3	過 当 競 争	30	25	21				
業	4	販売価格の低下	22	22	19				
<i>/</i> C	5	諸経費の増加	14	14	12				
	1	売上・受注の減少	60	50	50				
製	2	先行き見通し難	19	36	41				
造	3	販売価格の低下	29	23	18				
業	4	過 当 競 争	23	18	21				
<i>/</i> C	5	諸経費の増加	13	18	11				
-11-	1	売上・受注の減少	50	70	70				
非製	2	過 当 競 争	23	34	21				
光造	3	先行き見通し難	31	21	32				
業	4	販売価格の低下	27	21	21				
	5	資 金 繰 り 難	6	11	11				

注:上位2項目の複数回答、回答数÷企業数(回答なしを含む)

平成24年7~9月:上位5項目(全産業)は4~6月と同様。 「売上・受注の減少」が同水準(製造業、非製造業ともに同 水準)。

図-15 経営上の問題点(上位項目)

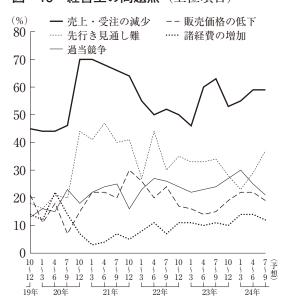


表-2 業種別 業況判断 BSI

期		24年1~	~3月実	E 績		24年4	~6月身	E 績		24年7	~9月予	想
判断	Α	В	С	BSI	Α	В	С	BSI	Α	В	С	BSI
業種	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$
全 産 業	28	32	39	▲ 5.4	23	33	44	▲ 10.2	17	41	43	▲ 13.1
食 料 品	60	10	30	15.0	57	29	14	21.4	57	14	29	14.3
繊維・縫製	0	50	50	▲ 25.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品	0	100	0	0.0	100	0	0	50.0	0	50	50	▲25.0
紙・紙加工品	0	60	40	▲ 20.0	25	0	75	▲ 25.0	0	75	25	▲ 12.5
窯業・土石	17	33	50	▲ 16.7	17	83	0	8.4	17	67	17	0.0
金属・機械	50	17	33	8.4	46	18	36	4.6	36	36	27	4.6
電 気 機 械	10	30	60	▲ 25.0	13	33	53	▲20.0	13	33	53	▲20.0
印刷・その他	17	0	83	▲ 33.3	20	30	50	▲ 15.0	0	50	50	▲25.0
製 造 業	29	25	46	▲ 8.7	30	32	38	▲ 3.6	20	43	38	▲ 9.0
建 設 業	44	33	22	11.1	25	50	25	0.0	38	38	25	6.3
卸 売 業	22	39	39	▲ 8.4	6	33	61	▲ 27.8	6	39	56	▲25.0
小 売 業	36	55	9	13.7	33	45	22	5.6	11	56	33	▲ 11.1
運 輸 業	17	33	50	▲ 16.7	14	29	57	▲ 21.4	14	29	57	▲ 21.4
旅館・ホテル	17	33	50	▲ 16.7	0	0	100	▲50.0	0	20	80	▲ 40.0
非製造業	28	40	32	▲ 2.0	15	34	51	▲ 18.1	13	38	49	▲ 18.1

表-3 業種別 売上高 BSI

	期		24年1~	~3月第	 毛績		24年4	~6月身	E 績	24年7~9月予想					
	判断	А	В	С	BSI	А	В	С	BSI	А	В	С	BSI		
業種		好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$		
全	産 業	35	23	42	▲ 3.7	30	22	48	▲ 9.0	25	31	44	▲ 9.5		
食	料 品	33	22	44	▲ 5.6	71	14	14	28.6	86	0	14	35.7		
繊維	維・縫製	50	50	0	25.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0		
木材	オ・木製品	100	0	0	50.0	50	0	50	0.0	0	50	50	▲ 25.0		
紙·	紙加工品	0	60	40	▲20.0	50	0	50	0.0	25	75	0	12.5		
窯美	業・土石	33	17	50	▲ 8.4	17	67	17	0.0	17	67	17	0.0		
金属	禹・機械	67	0	33	16.7	64	18	18	22.7	46	27	27	9.1		
電	気 機 械	20	30	50	▲ 15.0	20	13	67	▲ 23.4	20	20	60	▲20.0		
印吊	川・その他	17	17	67	▲25.0	30	20	50	▲ 10.0	20	40	40	▲ 10.0		
製	造 業	35	22	43	▲ 3.9	39	21	39	0.0	32	34	34	▲ 0.9		
建	設 業	57	14	29	14.3	38	38	25	6.3	25	50	25	0.0		
卸	売 業	33	22	44	▲ 5.6	12	12	77	▲32.4	18	18	65	▲23.6		
小	売 業	27	45	27	0.0	25	25	50	▲ 12.5	13	38	50	▲ 18.8		
運	輸 業	20	20	60	▲20.0	17	33	50	▲ 16.7	17	17	67	▲ 25.0		
旅館	官・ホテル	33	0	67	▲ 16.7	0	20	80	▲ 40.0	0	20	80	▲ 40.0		
非製	上 造 業	34	25	41	▲ 3.4	18	23	59	▲20.5	16	27	57	▲20.5		

表-4 業種別 経常利益 BSI

期		24年1~	~3月集	注 績		24年4	~6月第	 毛績	24年7~9月予想					
判断	Α	В	С	BSI	Α	В	С	BSI	Α	В	С	BSI		
業種	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$		
全 産 業	31	19	51	▲ 9.9	26	27	47	▲10.2	19	36	45	▲ 12.7		
食 料 品	50	10	40	5.0	57	29	14	21.4	43	43	14	14.3		
繊維・縫製	0	0	100	▲ 50.0	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲ 50.0		
木材・木製品	100	0	0	50.0	50	0	50	0.0	50	0	50	0.0		
紙・紙加工品	0	40	60	▲30.0	25	0	75	▲ 25.0	25	50	25	0.0		
窯業・土石	33	17	50	▲ 8.5	67	33	0	33.4	50	33	17	16.7		
金属・機械	42	17	42	0.0	27	46	27	0.0	27	36	36	▲ 4.6		
電 気 機 械	20	20	60	▲ 20.0	27	20	53	▲ 13.3	7	33	60	▲26.7		
印刷・その他	0	0	100	▲ 50.0	30	10	60	▲ 15.0	20	30	50	▲ 15.0		
製 造 業	29	15	56	▲ 13.5	36	23	41	▲ 2.7	25	34	41	▲ 8.1		
建 設 業	44	11	44	0.0	25	63	13	6.3	13	63	25	▲ 6.3		
卸 売 業	12	41	47	▲ 17.7	6	28	67	▲30.6	6	33	61	▲ 27.8		
小 売 業	42	25	33	4.2	11	45	44	▲ 16.7	22	45	33	▲ 5.6		
運 輸 業	67	0	33	16.7	43	14	43	0.0	29	29	43	▲ 7.2		
旅館・ホテル	20	0	80	▲30.0	0	0	100	▲50.0	0	20	80	▲ 40.0		
非製造業	33	22	45	▲ 6.1	15	32	53	▲ 19.2	13	38	49	▲18.1		

表-5 業種別 販売価格BSI

期		24年1~	~3月実	 毛績		24年4	~6月身	 毛績	24年7~9月予想					
判断	A	В	С	BSI	Α	В	С	BSI	Α	В	С	BSI		
業種	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$	好転	不変	悪化	$\frac{A-C}{2}$		
全 産 業	7	65	28	▲10.8	5	70	26	▲ 10.3	8	67	26	▲ 8.9		
食 料 品	0	90	10	▲ 5.0	0	100	0	0.0	14	71	14	0.0		
繊維・縫製	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0		
木材・木製品	0	0	100	▲ 50.0	0	50	50	▲ 25.0	0	50	50	▲ 25.0		
紙・紙加工品	20	60	20	0.0	50	50	0	25.0	25	75	0	12.5		
窯業・土石	17	83	0	8.4	17	83	0	8.4	33	67	0	16.7		
金属・機械	0	50	50	▲25.0	0	46	55	▲ 27.3	9	36	18	▲ 4.6		
電気機械	0	60	40	▲20.0	0	47	53	▲26.7	0	53	47	▲23.4		
印刷・その他	0	17	83	▲ 41.7	0	70	30	▲ 15.0	0	60	40	▲20.0		
製造業	4	62	35	▲ 15.4	5	63	32	▲ 3.4	9	57	34	▲ 12.5		
建 設 業	11	33	56	▲ 22.3	0	75	25	▲ 12.5	0	88	13	▲ 6.3		
卸 売 業	22	56	22	0.0	6	72	22	▲ 8.3	11	72	17	▲ 2.8		
小 売 業	0	82	18	▲ 9.1	11	78	11	0.0	11	89	0	5.6		
運 輸 業	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0		
旅館・ホテル	0	100	0	0.0	0	80	20	▲ 10.0	0	40	60	▲30.0		
非 製 造 業	10	68	22	▲ 6.0	4	78	17	▲ 6.6	7	78	15	▲ 4.4		

表-6 業種別 仕入価格 BSI

期		24年1	~3月隽	E 績		24年4	~6月第	毛績		24年7	~9月予	想
判断	А	В	С	BSI	A	В	С	BSI	А	В	С	BSI
業種	上昇	不変	低下	$\frac{A-C}{2}$	上昇	不変	低下	$\frac{A-C}{2}$	上昇	不変	低下	$\frac{A-C}{2}$
全 産 業	35	59	6	14.7	19	71	11	3.9	22	68	11	5.4
食 料 品	60	40	0	30.0	29	71	0	14.3	29	71	0	14.3
繊 維・縫 製	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品	0	0	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
紙・紙加工品	60	40	0	30.0	50	50	0	25.0	25	75	0	12.5
窯 業・土 石	33	67	0	16.7	17	83	0	8.4	33	67	0	16.7
金 属・機 械	33	50	17	8.3	9	73	18	▲ 4.6	27	36	36	▲ 4.6
電 気 機 械	10	70	20	▲ 5.0	7	67	27	▲ 10.0	7	67	27	▲ 10.0
印刷・その他	67	33	0	33.4	50	50	0	25.0	40	50	10	15.0
製造業	39	53	8	15.7	21	68	11	5.4	23	61	16	3.6
建 設 業	56	44	0	27.8	13	88	0	6.3	25	75	0	12.5
卸 売 業	33	56	11	11.1	17	67	17	0.0	22	67	11	5.6
小 売 業	0	100	0	0.0	11	78	11	0.0	11	89	0	5.6
運 輸 業	67	33	0	33.4	17	67	17	0.0	17	83	0	8.4
旅館・ホテル	17	83	0	8.4	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
非 製 造 業	31	65	4	13.8	15	74	11	2.2	20	76	4	7.7

表-7 経営上の問題点(上位項目)

(単位:%)

		問題点			20	年			21	年			22	年			23	年			24	年
		問 趜 只	IV	Ι	II	\coprod	IV	Ι	II	Ш	IV	Ι	II	Ш	IV	Ι	II	Ш	IV	Ι	II	Ⅲ予想
	1	売上・受注の減少	35	39	34	43	68	70	71	61	58	56	44	48	45	42	64	65	43	60	50	50
製	2	先行き見通し難	20	11	25	23	48	50	56	44	45	38	51	32	37	34	32	33	27	19	36	41
	3	販売価格の低下	24	11	21	7	11	22	15	16	24	20	22	30	20	19	14	14	22	29	23	18
造	4	過 当 競 争	8	7	8	13	9	11	8	25	8	20	18	18	16	15	22	22	18	23	18	21
厄	5	諸経費の増加	20	14	26	16	4	4	5	12	10	9	16	11	12	11	12	12	16	13	18	11
	6	仕入価格の上昇	55	66	60	68	32	17	12	12	10	11	18	11	20	19	22	22	24	23	11	11
業	7	人件費の増加	10	4	4	9	5	2	3	7	6	5	7	16	6	6	6	6	6	8	9	9
	8	資金繰り難	10	14	15	7	5	7	5	4	3	2	2	0	4	4	4	4	6	4	7	7
	1	売上・受注の減少	55	49	55	50	73	70	63	71	72	54	59	57	56	52	56	61	63	50	70	70
非	2	過当競争	18	27	22	35	27	36	42	2	26	26	37	36	33	31	25	24	35	23	34	21
95	3	先行き見通し難	16	22	16	17	39	30	37	36	36	13	35	26	33	31	33	15	29	31	21	32
製	4	販売価格の低下	18	12	14	6	20	23	29	24	38	33	17	17	13	12	14	3	15	27	21	21
造	4	資金繰り難	16	16	8	15	14	16	2	11	12	7	0	7	10	10	14	9	10	6	11	11
	6	仕入価格の上昇	39	37	53	42	16	9	6	4	0	11	4	12	10	10	22	12	15	19	9	13
業	7	諸経費の増加	8	10	16	13	12	2	2	27	0	7	4	2	10	10	8	27	27	13	9	13
	8	人件費の増加	4	2	2	4	2	0	6	13	4	9	11	5	5	5	11	15	8	10	9	6

注:上位2項目の複数回答、回答数÷企業数(回答なしを含む)

平成25年度の新規学卒者採用計画に関するアンケート調査結果

景気の低迷、先行きの見通し難、高齢者継続雇用制度の導入など雇用を取巻く状況は厳しさが増しています。そんな中、「新規学卒者採用計画に関するアンケート」を前回実施させていただきました。結果を掲載させていただきます。

【調査結果要旨】

~平成25年度の採用計画は厳しさが増している~

- ■各事業所における従業員の過不足感は、製造業で「過剰」、非製造業で「不足」となった。
- ■ここ数年の新規学卒者の採用状況を前年と比較すると、「近年採用実績なし」が増加し、「断続的に採用」「定期的に採用」が減少している。
- ■採用の方針は、「不足はないがよい人材があれば採用する」、「定年等の退職者の増加が見込まれるので採用したい」が上位をとなった。

【調査概要】 調査方法 郵送・持参によるアンケート方式

調査対象 鳥取県内企業227社(有効回答105社(製造業56社、非製造業49社)、有効回答率46.2%)

調査時期 平成24年5月下旬から6月下旬(毎年実施、平成21年度は未実施)

調査内容 「平成25年度の新規学卒者採用計画」

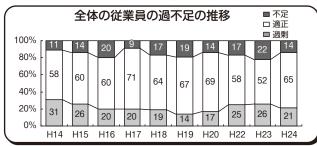
1. 従業員の過不足

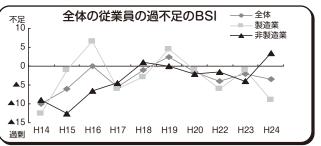
- 2. 職種別の過不足
- 3. 新規学卒者の採用状況
- 4. 平成25年度の新規学卒者の採用方針

1. 従業員の過不足感 【製造業は「過剰感」、非製造業は「不足感」】

調査時点の各事業所が感じる従業員の過不足は、回答企業全体(以下全体)で「適正」が65%(前年調査52%)、「過剰」が21%(同26%)、「不足」が14%(同22%)となった。前年調査と比較すると、「適正」が13ポイント上昇し、「過剰」が5ポイント、「不足」が8ポイント低下した。

業種別で従業員の過不足のBSI((「不足」企業割合ー「過剰」企業割合)÷2)をみると、製造業は▲9.0(前年調査▲8.0)と「過剰」になり、非製造業は+3.5(同+7.5)と「不足」になった。全体では▲3.5(同▲1.5)と「過剰」になった。





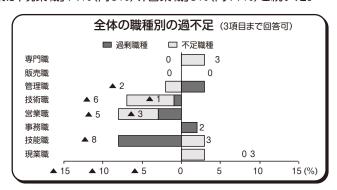
2. 職種別の過不足 【過剰職種は現業職、事務職。不足職種は技術職、現業職】

調査時点の過剰感の高い職種は、全体で「現業職」13%(前年調査13%)、「事務職」7%(同5%)となった。業種別でみると 製造業は「現業職」21%(同18%)、「管理職」7%(同0%)で高く、非製造業は「事務職」10%(同11%)、「現業職」4%(同5%) と続いた。

一方、不足感の高い職種は、全体で「技術職」9%(同15%)、「現業職」9%(同13%)となった。業種別でみると、製造業は「技術職」11%(同18%)、「営業職」7%(同14%)で高く、非製造業は「現業職」14%(同5%)、「営業職」8%(同11%)と続いた。

過剰感のある職種(3項目まで回答可) 回答数に対する割合(%)																	
Γ		専門職		管理職		技能職		販売職		技術職		営業職		事務職		現業職	
	全体	0	(0)	5	(2)	1	(9)	1	(1)	1	(2)	1	(3)	7	(5)	13	(13)
ſ	製造業						(14)										
	非製造業	0	(0)	2	(5)	0	(4)	2	(3)	2	(0)	2	(8)	10	(11)	4	(5)

不足感のある職種(3項目まで回答可) 回答数に対する割合(%)														
	専門職		管理職		技能職		販売職		技術職	営業職	事務職		現業職	
全体	4	(1)	5	(7)	5	(2)	2	(2)	9 (15)	8 (13)	2	(2)	9	(6)
製造業	2	(2)	2	(6)	7	(4)	0	(2)	11 (18)	7 (14)	4	(4)	4	(6)
非製造業	6	(0)	8	(8)	2	(0)	4	(3)	6 (11)	8 (11)	0	(0)	14	(5)
											査値			



3. 新規学卒者の採用状況 【非製造業は若干悪化、製造業は悪化】

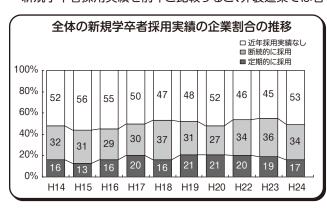
ここ数年の新規学卒者採用実績の企業割合は、全体で「定期的に採用」17%(前年調査19%)、「断続的に採用」34%(同36%)、「近年採用実績なし」53%(同45%)となった。

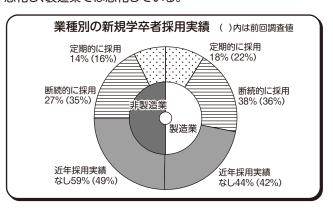
前年と比較して、「定期的に採用」が2ポイント、「断続的に採用」が2ポイントそれぞれ減少し、「近年採用実績なし」が8ポイント上昇した。平成14年からの推移をみると、「定期的に採用」の企業割合は再び減少傾向で、様子をみながら採用する企業や、採用を見合わせる企業の割合が高くなっていることが窺える。

業種別でみると、製造業では「定期的に採用」(今年18%、前年22%)が4ポイント減少し、「断続的に採用」(同38%、同36%)が2ポイント増加、「近年採用実績なし」(同44%、同42%)が2ポイント増加した。

非製造業では、「定期的に採用」(同14%、同16%)と2ポイント減少し、「断続的に採用」(同27%、同35%)が8ポイント減少し、「近年採用実績なし」(同59%、同49%)が10ポイント増加した。

新規学卒者採用実績を前年と比較すると、非製造業では若干悪化し、製造業では悪化している。





4. 平成25年度の新規学卒者の採用方針 【「不足はないが良い人材があれば採用する」が首位】

来春の新規学卒者の採用方針(複数回答)をみると、全体では「不足はないがよい人材があれば採用する」が25%(前年調査30%)で前年に引き続いて最も多い回答だった。次いで「定年等の退職者の増加が見込まれるので採用したい」が19%(同17%)、「採用できる見込がないので募集しない」が14%(同11%)、「充足しているので採用しない」が14%(同10%)と続いた。

業種別でみると、製造業では、「不足はないがよい人材があれば採用する」が24%(前年調査36%)と最も多く、次いで「採用できる見込がないので募集しない」が14%(同16%)、「定年等退職者の増加が見込まれるので採用したい」が14%(同14%)、「充足しているが若年層が手薄なので採用したい」が14%(同10%)、「充足しているので採用しない」が14%(同8%)、「採用できる見込がないので募集しない」が14%(同16%)と続いた。非製造業では、「不足はないがよい人材があれば採用する」が29%(同21%)と回答する企業が最も多く、次いで「定年等の退職者の増加が見込まれるので採用したい」が23%(同21%)と続いた。

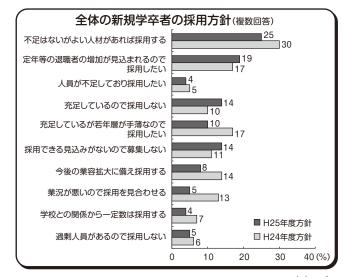
前回と比べると、製造業では「充足しているので採用しない」が6ポイント、「充足しているが若年層が手薄なので採用したい」が4ポイント増加した。非製造業では「採用できる見込がないので募集しない」が9ポイント、「不足はないがよい人材があれば採用する」が8ポイント増加した。

(%)

〈平成25年度の新規学卒者の採用方針(複数回答)〉

			(70)
項目	全体	製造業	非製造業
人員が不足しており採用したい	4 (5)	4 (4)	4 (5)
今後の業容拡大に備え採用する	8 (14)	6 (16)	9 (11)
定年等の退職者の増加が見込まれるので 採用したい	19(17)	14(14)	23(21)
不足はないがよい人材があれば採用する	25 (30)	24 (36)	29(21)
充足しているが若年層が手薄なので採用 したい	10(17)	14(10)	7 (26)
学校との関係から一定数は採用する	4 (7)	2 (12)	5 (0)
充足しているので採用しない	14(10)	14 (8)	14(13)
過剰人員があるので採用しない	5 (6)	2 (6)	7 (5)
業況が悪いので採用を見合わせる	5 (13)	0 (12)	9 (13)
採用できる見込みがないので募集しない	14(11)	14(16)	14 (5)
その他	5 (3)	8 (4)	2 (3)





以上

「環境配慮型経営」 「環境保全に向けた取組み」を 実践される事業者の皆さまへ

とりぎん環境配慮型融資・私募債 ラインナップ

3つのラインナップから貴社に最適な融資商品・私募債をお選びいただけます

環境配慮に向けた各種 取組みに必要な資金は



とりぎん環境配慮型融資 グリーン・アシスト

ISO14001 など環境に係る 外部認証、または当行環境格付 B 以上取得の方は



とりぎん環境配慮型融資 グリーン・リード

ISO14001 など環境に係る 外部認証、または当行環境格付 B 以上取得の方は



銀行保証付私募債とりぎん環境配慮型

上記商品は、各種条件・審査等がございます。 詳しくはお近くのとりぎん窓口、または下記ビジネスプラザまでお問い合わせください。

ビジネスプラザ鳥取

TEL.0857-27-1431

鳥取市本町3-201 鳥取産業会館鳥取商工会議所ビル1階 【営業時間】平日9:00~17:00

ビジネスプラザ米子

(米子商工会議所会館出張所) 「FI **○Q5○_**21_フフ○○

米子市加茂町2-204 米子商工会議所会館1階 【営業時間】平日9:00~17:00



平成24年9月20日現在

発行 **鳥取銀行** ふるさと振興部 くらしと経営相談所

〒680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地 TEL 0857-37-0220

